

団体名		有限会社 武蔵野交流センター						
①	指標名	来店購買客数			目標値	125,000人	実績値	121,649人
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	97.3%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:人)	127,044	121,092	122,540				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 乳幼児連れに対する宅配サービス強化を行った。 2. 子供向けの品揃え強化や、夏休みイベントの継続・重点売出し(開店記念や各友好都市週末イベントなど)の家族向け企画を実施し動員を図った。 3. 週末に来店する新しい顧客の獲得のため、週末の試食販売の実施回数向上に努めた。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 テレビ・雑誌等メディアを通してPRできたこともあり、新規顧客の獲得は順調に進んだと思われる。自主的に重点アイテムを決め、試食を実施する等各販売員への意識付けはされている。							
二次評価	情報発信の強化など、来店者の確保・増加に努められたい。							
②	指標名	経常損益金			目標値	0円	実績値	-96千円
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率		達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:千円)	-588	-1,977	130				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 各友好都市に対し、課題である配送料の高騰に対する負担軽減への対応依頼を行った。 2. 収支状況において、3ヶ月ごとの検証を行い、短期的な運営方針を検討した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 株主総会や意見交換会等でこまめに友好都市へ対応依頼を行ったが、年度中には応じてもらえなかった。しかし、27年度は南房総市が年数回「南房総旬のフェア」にて売値の3割を負担する予定で、各友好都市のシティプロモーションに活用する機運が高まってきている。							
二次評価	黒字経営に転換するための様々な取り組みにより、以前に比べ赤字額は圧縮している。平成25年度に達成した黒字化に向け、一層の努力を期待する。							
③	指標名	光熱費・用度経費の維持			目標値	2,000千円	実績値	2,082千円
	過去の実績	平成23年度	平成24年度	平成25年度	達成率	96.1%	達成状況	未実施・ <u>未達成</u> ・達成
	(単位:千円)	1,549	1,786	1,992				
	取組内容	※26年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 1. 夏季の店内温度管理の徹底を図った。 2. マイバッグ利用の呼びかけでレジ袋率の削減を努めるとともに、友好都市にオリジナルレジ袋を供給してもらえるよう依頼した。 3. 保冷剤を利用者から回収し、再利用した。						
一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 光熱費は、必要以上の冷却・保温を避ける等努力したが、恒常的な電気料の値上がりが響いた。各友好都市に依頼し続けているレジ袋の供給が進んでおらず、用度経費の削減には至らなかった。レジ袋については株主総会での積極的な働きかけにより検討を始めた友好都市も見られるため、今後も継続していきたい。							
二次評価	引き続き、上記取組みを進められたい。							